

# 東海スポーツ傷害研究会 臨時幹事会議事録

日時	2022年4月14日(木) 19:30~20:25
場所	三笠製薬(株) Zoom システムにて実施
出席者	河野友祐、河野公昭、後藤英之、小林寛和、坂口弘樹、清水卓也、杉本勝正、土屋篤志、野崎正浩、福田 雅、福田亜紀、船越雄誠、山賀 寛、山路倫生 以上14名(敬称略五十音順)
三笠製薬(株)	橋本、今渕、西川、上野

## 【議題】

今後の研究会運営について(次回まで三笠製薬が共催、その後の運営)

- 1) 会の形態
- 2) 会場
- 3) 事務局
- 4) 経費

## 【議事の経過】

- 1) 会の形態

対面形式かリモートか(若しくはハイブリット)

スポーツと言う場では、各関係者が会場に集まり対面での意見交換等が望ましいのではないかと意見。

- 2) 会場

ウイנקあいち等の施設では金額が高いため、無理ではないか。  
大学の講堂等を利用する事を提案。  
各大学の施設につき、費用等の詳細を各先生にお調べいただく。

### 3) 事務局

事務局は短期間で変更する事はあまり望ましい事ではなく、教育機関等に置く事が良いのではないかと意見。

代表幹事の杉本先生より名古屋市立大学の村上教授へ主旨を説明し、大学に事務局を設置いただけないかご提案いただく。(大学にスポーツ講座あり)  
共催いただける企業を探す事は困難と思われる。

他の学会の状況をお聞きするが、事務局の業務負担が多いため実際に担っていただけるかは分からない。

当番幹事と事務局の役割分担をする必要があるのではないか。  
事務業務を担っていただくため、学会から予算を計上する必要があるのではないか。

事務局の業務を当番幹事と事務局に仕分けする事は可能か。

共催会社より事務局の業務を説明。後日、一覧にしたものを杉本先生へ提出。

### 4) 経費

研究会当日に参加費を徴収するのみでは、経費が賅えないのではないか。

収入増を図るため、機械展示及びホームページのバナー共催を募るのはどうか。

デザイン会社へ依頼しているチラシを現在の共催会社である三笠製菓が作成し、配布する案を提示する。

### 次回までの課題

1. 事務局をどの施設へ設置するか
2. 会場の選定 (大学の講堂など)
3. 名古屋市立大学 村上教授へ会の趣旨を説明し、その結果報告  
・ 藤田医科大学、愛知医大も事務局可能か確認
4. 当番幹事と事務局の具体的な業務仕分けについて

6月に臨時幹事会を開催する旨出席者の先生へお伝えする。

以上